

# 動物実験に関する検証結果報告

高知大学

## 動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2025 年 3 月



2025 年 3 月 14 日

高知大学

学長 受田浩之 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会

理事長 小倉淳郎



対象機関：

申請年月日：2024 年 7 月 25 日

訪問調査年月日：2024 年 11 月 11 日

調査員：松田幸久、三浦竜一、篠原明男

#### 検証の総評

高知大学は人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部、地域協働学部の 6 学部と総合人間自然科学研究科を有する総合大学である。動物実験は岡豊キャンパスにある医学部、物部キャンパスにある農林海洋科学部及び朝倉キャンパスにある理工学部で行われている。実験動物の飼養保管は、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守して適正に実施され、動物実験は、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に適合して適正に実施されている。動物実験計画書の審査は学内 LAN により Web 形式の書式で全学的に行われており、研究遅延を防ぐためにも高く評価できる。魚類を用いた実験に対しても実験計画書の審査が行われ、キャンパスごとに動物種に応じた標準操作手順書と教育訓練が整備されていることは高く評価できる。しかし、中核となる飼養保管施設の空調設備や給排水設備の老朽化が認められ、さらに農林海洋科学部附属フィールドサイエンス教育研究センターの飼養保管施設は設置後 52 年を経過し老朽化が進んでいる。これらの老朽化した飼養保管施設に対しては改善が必要であり、より適正な動物の飼養が行えるよう産学官の連携も考慮しマスタープランに盛り込むなど、大学全体として取り組まれない。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
- ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 機関内規程を定めていない。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

基本指針及び飼養保管基準に則って「高知大学動物実験管理規則（以下「学内規程」という。）」が定められている。前回の外部検証での指摘を踏まえ、学長の責務を強化するなど学内規程が国立大学法人動物実験施設協議会（以下「国動協」という。）の雛型第三版に則し改訂されている。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 機関内規程が定められていない。

##### 4) 改善に向けた意見

今回の自己点検・評価報告書では国動協の雛型を参考としながら 2024 年度中に改正するとあるが、国動協の雛型は 2021 年に第四版に改訂されており、改正にあたっては第四版の雛型を参考とされたい。

#### 2. 動物実験委員会

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
- ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 動物実験委員会を設置していない。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

学内規程で基本指針に則した動物実験委員会の設置が定められ、動物実験委員会規則において役割や委員会構成が定められている。3 要件を満たす 8 名の委員からなる動物実験委員会において動物実験計画書の審査、飼養保管施設及び実験室の設置に関する審査体制がとられている。昨年、動物実験委員会に 3 要件のうち 2 号委員を 1 名追加し 2 名としたことは評価できる。また、動物実験委員会とは別に 6 名からなる動物実験自己点検・自己評価委員会が設けられ動物実験自己点検・評価報告書の作成や情報公開に関する審議体制がとられている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。

|                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。</li> </ul> |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>2023 年度高知大学自己点検・評価報告書に「3 要件の各委員を複数名で構成するよう 2024 年度中に学内規程及び動物実験委員会規則を改正する」とあるため適切に対処されたい。また、自己点検・評価が客観的に行われるよう動物実験自己点検・自己評価委員会が設けられていることは評価できるが、動物実験委員会との兼任委員が多いため動物実験委員会に一本化することも検討されたい。</p>                                  |

### 3. 動物実験の実施体制

|                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</li> </ul> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>学内規程において、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、手続きを進めるための各種様式も定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>                                                                                                                            |
| <p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。</li> </ul>    |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>学内規程を改正する際に各様式の内容も改正されたい。</p>                                                                                                                                                                                                           |

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</li> </ul> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え実験については「遺伝子組換え実験管理規則」が、放射線を用いた実験については「医学部地区研究部門放射線障害予防規則」が、病原体等を用いた実験については「病原体等安全管理規則」がそれぞれ制定されている。また、緊急時の対応マニュアルも飼養保管施設ごと</p>                                                                                                                                                                                                   |

に定められている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- ☐ 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

前回の外部検証で指摘した発がん物質に関する規則の制定であるが、2023 年度高知大学動物実験自己点検・評価報告書に「有害物質（発がん物質等）に該当する薬物等を用いた実験におけるガイドラインを 2024 年度中に整備する」とあるため適切に対処されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設の設置は動物実験委員会の調査及び審査を経て、学長が承認する体制がとられている。各飼養保管施設には実験動物管理者が置かれ、各施設に整備された飼養保管マニュアルにより実験動物の飼養保管を行う体制となっている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

高知大学は前回 2014 年度に動物実験に関する外部検証を受検しており、今回 2 回目である。魚類を用いた実験に対しても実験計画書の審査体制が整備されていることは高く評価できる。

## Ⅱ．実施状況

### 1．動物実験委員会の活動状況

|                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 機関による自己点検・評価結果<br>■ 基本指針に適合し、適正に機能している。<br>□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<br>□ 多くの改善すべき問題がある。                                                    |
| 2) 自己点検・評価の妥当性<br>動物実験計画書は動物実験委員会により審査され、審査記録も残されている。飼養保管施設の調査、教育訓練等については動物実験委員会により適正に実施されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。        |
| 3) 検証の結果<br>■ 基本指針に適合し、適正に機能している。<br>□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<br>□ 多くの改善すべき問題がある。                                                             |
| 4) 改善に向けた意見<br>動物実験計画書の申請、審査、承認までオンラインによる審査体制を構築していることは高く評価できるが、「Web の審査方法に関して動物実験委員会規則もしくは内規に具体的な手順を含める」との前回の外部検証での指摘がまだ実施されていないため適切に対処されたい。 |

### 2．動物実験の実施状況

|                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 機関による自己点検・評価結果<br>■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。<br>□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<br>□ 多くの改善すべき問題がある。                                       |
| 2) 自己点検・評価の妥当性<br>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告書に関して学内規程に基づいて実施されており、「実験結果報告書」及び「動物実験の自己点検票」は確実に提出されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。 |
| 3) 検証の結果<br>■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<br>□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<br>□ 多くの改善すべき問題がある。                                               |
| 4) 改善に向けた意見<br>総合研究センター動物実験施設のホームページに掲載されている麻酔法等の実験手技については、最新の情報をもとに改訂するとともに実験実施者に周知・指導を徹底されたい。                                       |

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>発がん物質（毒物・劇物）を用いた動物実験、遺伝子組換え動物を用いた実験、病原体等を用いた動物実験および放射線を使用した動物実験は適正に実施されている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>                                                                                            |
| <p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</p>             |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>                                                                                                                                                                                                                     |

### 4. 実験動物の飼養保管状況

|                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>         |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>医学部では飼養保管マニュアルが定められ、業務日誌も保管されている。また、マウス、ラットについては定期的な微生物モニタリングが実施されている。農林海洋科学部等での飼養保管マニュアルの整備及び微生物モニタリングの実施については、前回の外部検証時の指摘を踏まえて改善されている。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>                 |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>                                                                                                                                                                              |

5. 施設等の維持管理の状況

|                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 機関による自己点検・評価結果                                                                                                                                                          |
| <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。                                                                                                                      |
| <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。                                                                                                                 |
| <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。                                                                                                                                    |
| 2) 自己点検・評価の妥当性                                                                                                                                                             |
| 総合研究センター動物実験施設は第一期工事から 45 年を経過し、空調設備や給排水設備の老朽化が認められる。また、農林海洋科学部の飼養保管施設は設置後 52 年を経過し老朽化が進んでいる。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。                                       |
| 3) 検証の結果                                                                                                                                                                   |
| <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。                                                                                                                       |
| <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。                                                                                                                 |
| <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。                                                                                                                                    |
| 4) 改善に向けた意見                                                                                                                                                                |
| 高知大学において動物実験の中核施設である総合研究センター動物実験施設だけでなく、高知県のブランド畜産物として高く評価されている希少種の褐毛和種高知系を飼養している農林海洋科学部附属フィールドサイエンス教育研究センターの飼養保管施設も老朽化している。より適正な動物の飼養保管が行えるよう施設改修について大学全体として取り組むよう検討されたい。 |

6. 教育訓練の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 機関による自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。                                                                                                                                                                                                                                         |
| <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。                                                                                                                                                                                                                                  |
| <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2) 自己点検・評価の妥当性                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 動物実験実施者に対する教育訓練は実験動物に関して識見を有する動物実験委員会の委員が対応しており、実習に参加する学生に対する教育訓練は統一した教材を基に実習担当教員が実施している。また、実験動物管理者は日本実験動物学会が開催する実験動物管理者等研修会を受講している。さらに、キャンパスごとの動物実験実施状況に則した教育訓練が実施されているだけでなく、技術講習会なども実施されている。したがって、教育訓練の実施状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」とする。 |
| 3) 検証の結果                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。                                                                                                                                                                                                                             |
| <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。                                                                                                                                                                                                                                             |
| <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。                                                                                                                                                                                                                                                     |

4) 改善に向けた意見

2023 年度の自己点検・評価において再教育訓練に関しては十分に対応できていないことから再教育訓練教材（動画）を作成し公開するとされている。動物実験に関する技術的進展や社会情勢の変化もあることから、定期的な再教育訓練の実施が望まれる。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験自己点検・自己評価委員会により 2011 年から自己点検・評価が実施されている。また、動物実験関連規則、自己点検・評価報告書と動物実験申請及び承認件数、動物飼養数、飼養保管施設、動物実験委員会委員、教育訓練の実施状況等、さらに前回の外部検証の結果も大学のホームページに掲載されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

利用者の教育訓練の一環として総合研究センター動物実験施設では技術講習会を開催することにより動物実験実施者の動物実験の技術向上を図り、動物への苦痛軽減（Refinement）につなげていること、また、利用者講習会での座学をオンデマンド配信することにより何度も視聴できるようにしていること、さらに、学部ごとに、実験に応じた教育訓練の内容が充実していることは高く評価できる。

日実動学-外検発 第R7-29号-証

# 検証実施証明書

高知大学  
学長 受田 浩之 殿

貴機関は、公益社団法人日本実験動物学会  
外部検証委員会による「動物実験に関する  
外部検証事業」による自己点検・評価を行い  
その結果に対する検証を本委員会が実施した  
ことを証します

2025年3月14日

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 小倉 淳郎



No.2025-29

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



## CERTIFICATE

President Mr. Hiroyuki Ukeda  
Kochi University

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certifies that Kochi University received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2024".

Sincerely yours

14 March, 2025

Atsuo OGURA, Ph. D., D.V.M  
President  
JALAS

Masami MORIMATSU, Ph.D.,  
D.V.M., DJCLAM  
Chairman  
Assessment and Verification  
Committee, JALAS